



小籾侃一郎議員

**問**

- 暫定税率と青部バイパス
- 耕作放棄茶園を憂慮
- てん茶事業の頓挫と今後のてん茶の展開

**質問** 4月の暫定税率失効による川根本町内の道路建設等への影響をお伺いします。

**町長** 当初予算ベースでの影響額を推計すると、4月の1ヶ月では約350万円の減収が予想されます。国においてこれらの減収については、最終的な減収額の確定などを踏まえて、補てん措置を検討していきたいとの考えが示されており、今後ともこうした影響が出ないよう、町として要望、意見を述べていきたいと考えております。

**質問** 町民の関心は青部バイパスであろうと思えます。

**町長** 当町の最優先事業でありますので、早期に完成するよう、国、県に対しまして今まで以上に要望してまいります。24年度中で完成すると認識しております。

**質問** 質問の前に第62回全国茶品評会に出品のために全力、全神経



青部バイパス

を注いでくださいました関係者、とりわけ出品者の熱意と御苦労に敬意を表するものでございます。さて、今年度の茶業は非常に厳しい環境に置かれ、肥料代、重油代等生産コストの上昇圧力の狭間で生産家は悲壮感を抱いている状況です。現状をどのように捉えているかお伺いします。

**町長** 町内からの出品は11点が予定されております。熊本県での全品結果に大いに期待されるのであります。川根茶のブランド力の向上に、今後とも取り組んでまいりたい。一番茶は短期集中型で共同製茶工場等から推計で量は前年比101%金額は95%近年大変厳しい状況が続いているものと認識しております。

**質問** 川根本町内耕作放棄茶園はまさに地域の価値を下げるものであり、町長の思いをお伺いします。

**町長** 高齢化あるいは茶価の低迷ということ、農家個人に管理をゆだねる、責任を負わせることは、もう限界がきていると感じております。大きな問題であり、集団営農方式、地域づくり事業等連動しながら茶業の振興に取り組んでいきたいと考えております。

**産業課長** 耕作放棄地面積は約12畝です。

**質問** てん茶・粉末生産設備建設中止について、3月議会で町当局のこの事業に対する意気込みと事業計画説明を信頼した議会の一人として、誠に遺憾に思うところがあります。

**町長** 基本的には事業実施者の申し出により

中止になりました。町としても大変反省してまいりますし、私も遺憾に感じております。今後補助事業推進に当たっては事業計画、設立推進等合意形成や内容の精査をしっかりとしていきたいと考えてます。

**質問** 今後の展開は。

**町長** 今回の一連のいきさつを反省しながらてん茶事業が次年度以降展開でき、それが川根地域の茶業の振興につながるよう努めていく事が行政の責任の一



町内耕作放棄茶園

端であるとも考えております。今後共やる気のある町民、職員が萎縮することなく取組んでいきたいと考えております。

**答**

- 青部バイパスは24年度中完成と認識
- 茶園を守っていく仕組みづくりが必要
- 大変遺憾に思う、次年度以降展開し、茶業振興を図る